剣道・居合道および杖道錬士称号審査会要項

１．受審資格

⑴六段受有者で、受有後１年以上を経過（平成２８年１１月３０日以前に取得）した者。

⑵五段受有者で、受有後１０年以上を経過（平成１９年１１月３０日以前に取得）し、かつ、年齢６０歳以上の者（称号・段位審査規則第 11 条２項による特例）。

※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第２１条２項の資格を有する者。なお、講習会の有効期間３年は、平成２６年７月以降とする。

※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦委員会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。

※年齢基準は、審査当日平成２９年１１月２７日とする。

※全剣連社会体育指導員中級取得者は小論文提出を免除する。

２．申込方法

受審希望者は、所定の錬士受審申請書と小論文（いずれも手書きによる自筆、パソコン不可）に講習手帳を添え、　　へ申込むこと。

３．小論文　各支部事務局へ　8/22 までに。

⑴課　題　剣道・居合道・杖道共に平成１９年３月１４日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの剣道・居合道・杖道修業について述べなさい。

⑵字　数　４００字以上８００字以内

⑶用　紙　４００字詰め原稿用紙（市販のＢ４縦書き）用紙１～４行目に表題と登録都道府県名である東京都と氏名を記し、５行目２段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。２枚の原稿用紙は右上をホッチキスで止めること。（凡例参照）

⑷提　出　封筒長３（長さが 23.5ｃｍ・幅が 12cm）の表に「剣道錬士受審」・「居合道錬士受審」・「杖道錬士受審」のうち該当するものを、裏に登録都道府県である東京都と自分の氏名を表記のうえ封印すること。

４．審査の方法

⑴小論文の審査

全剣連は小論文について、課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道・居合道・杖道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

⑵審査会による審査

全剣連は小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

５．選 考 料

１人　２，１６０円（消費税含む）

６．審 査 料

１２，９６０円（全剣連分７，５６０円、東剣連分５，４００円）消費税含む。

※東京都剣道連盟の称号推薦委員会で不合格になった者には返金する。

７．合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の都道府県剣道連盟に送付する。後日、全剣連月刊「剣窓」平成３０年１月号および全剣連ホームページ（http://www.kendo.or.jp/）に合格者の氏名を掲載する。

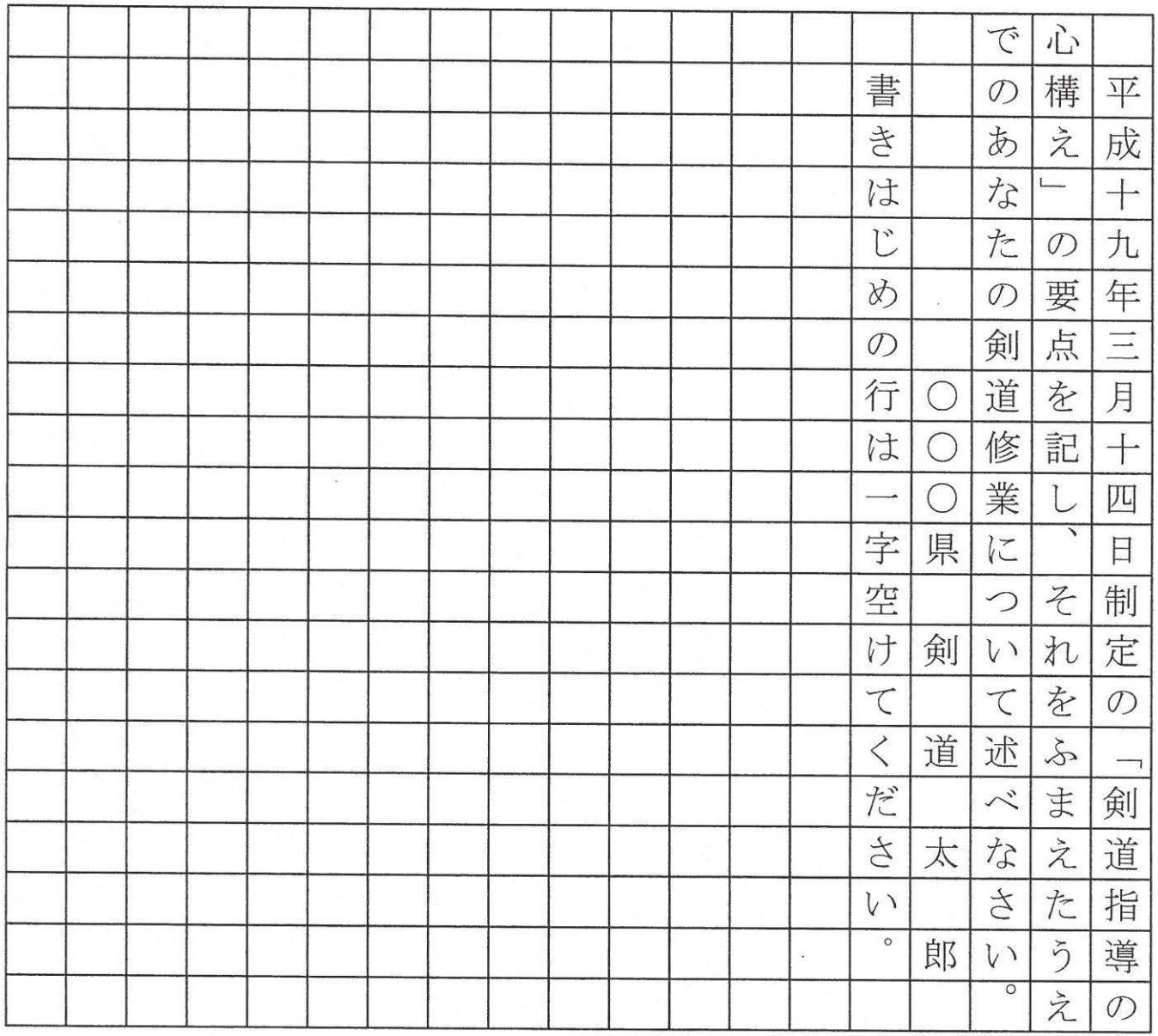
８．個人情報保護法への対応

（以下を申込者に周知して下さい。）

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、剣道・居合道・杖道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

錬士小論文　原稿用紙記載での留意事項

①市販Ｂ４縦書き四〇〇字詰め原稿用紙使用
②一～四行目表題と登録都道府県・氏名記入
③五行目二段目よりお書きください。
④二枚の原稿用紙　右上ホッチキスで止める
⑤手書きによる自筆
　鉛筆またはシャープペンシル書きは不可
⑥左の凡例を参照してください。



剣道・居合道および杖道教士称号審査会要項

１．受審資格

錬士七段受有者で、七段受有後２年以上を経過（平成２７年１１月３０日以前に取得）した者。

※上記対象者で東京都剣道連盟における級位・段位・称号の審査等に関する規程および実施要領第２１条２項の資格を有する者。なお、講習会の有効期間３年は、平成２６年７月以降とする。

※東京都剣道連盟では、上記対象者を称号推薦委員会に諮ったうえ全剣連へ推薦する。

※年齢基準は、審査当日平成２９年１１月２７日とする。

※全剣連社会体育指導員上級取得者は筆記試験を免除する。

２．申込方法

受審希望者は、所定の教士受審申請書（自筆、パソコン不可、顔写真貼付）に講習手帳を添え、8/22までに各支部事務局へ申込むこと。

３．審査の方法

全剣連では、都道府県剣道連盟会長から推薦のあった候補者について、剣道は、日本剣道形、試合・審判、指導法、木刀による剣道基本技稽古法、称号・段位、健康・安全、居合道は、居合（解説）、試合・審判、指導法、称号・段位、健康・安全、杖道は、杖道（解説）、試合・審判、指導法、称号・段位、健康・安全および各々に関する小論文の筆記試験を行い、試験結果を審査会に提出し合否を決定する。

⑴筆記試験日時　　平成２９年１１月１１日（土）

受付開始・終了　　１２時３０分~午後１時

筆記試験開始・終了　午後１時３０分～午後４時３０分（予定）

⑵筆記試験会場（別紙案内図参照）　東京都・愛知県・兵庫県・福岡県の下記４ヶ所で実施。

受審者は試験会場希望地を各加盟団体に申し出ること。

ア　東京都会場　弘済会館　４階会議室　（千代田区麹町５－１）電話 03-5276-0333

※交通機関　ＪＲ・総武線、中央線　四谷駅下車（麹町出口徒歩約５分）

東京メトロ・丸の内線、南北線　四谷駅下車（１番出口徒歩約５分）

東京メトロ・有楽町線　麹町駅下車（２番出口徒歩約５分）

イ　愛知県会場　ウインクあいち（名古屋市中村区名駅４丁目 4-38）電話 052-571-6131

ウ　兵庫県会場　神戸市勤労会館（神戸市中央区雲井通 5-1-2）電話 078-232-1881

エ　福岡県会場　ＴＫＰｶﾞｰﾃﾞﾝｼﾃｨ博多（福岡市博多区博多駅前 4-11-18 ﾎﾃﾙｻﾝﾗｲﾝ福岡博多駅前 2F）電話 092-433-0520

⑶試験方法については、後日、各加盟団体に通知と全剣連月刊「剣窓」平成２９年９月号および全剣連ホームページ(http://www.kendo.or.jp/)に掲載する。

⑷試験会場への携行品　筆記具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）

４．選　考　料

１人　２，１６０円（消費税含む）

５．審　査　料

１６，２００円（全剣連分１０，８００円、東剣連分５，４００円）消費税含む。

※東京都剣道連盟の称号推薦委員会で不合格になった者には返金する。

６．合格発表

審査終了後、合格者決定通知と証書を合格者の都道府県剣道連盟に送付する。後日、全剣連月刊「剣窓」平成３０年１月号および全剣連ホームページ（http://www.kendo.or.jp/）に合格者の氏名を掲載する。

７．個人情報保護法への対応（以下を申込者に周知して下さい。）

申込書に記載される個人情報（登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等）は全日本剣道連盟および東京都剣道連盟が実施する本審査会運営のために利用する。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体（掲示用紙、ホームページ、剣窓等）に公表することがある。更に、剣道・居合道・杖道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがある。

８．そ　の　他

⑴筆記試験の３科目群のうち１科目群が不合格となった受審者は、再受審が認められます。

なお、本審査日より１年経過後、再受審は無効となりますので、ご留意下さい。

⑵審査参加料払込後の返金については、１０月２７日（金）までに加盟団体を通じて理由を付した書面を（ＦＡＸ可）を東京都剣道連盟あてに提出すること。なお、返金額は本連盟手数料 5,400 円、全剣連手数料 2,160 円を差し引いて 8,640 円を後日、加盟団体へ返金する。

【会場名】　**弘 済 会 館**

【所在地】　〒１０２－００８３
東京都千代田区麹町５丁目１番地

【電　話】　０３－５２７６－０３３３

案　内　図



【交通案内】

●ＪＲ総武線、中央線　「四ツ谷駅」下車　麹町出口から徒歩５分

●地下鉄丸ノ内線、南北線　「四ツ谷駅」下車　１番出口から徒歩５分

●地下鉄有楽町線　「麹町駅」下車　２番出口から徒歩５分

●バス 新宿西口～三宅坂、晴海埠頭～四谷「麹町５丁目」下車　徒歩１分

平成29年11月　剣道称号「教士」筆記試験実施要領

【1時限目】　試験時間　13：30～14：20（５０分）

1　指導法

（1）「剣道の理念」「剣道修錬の心構え」「剣道指導の心構え」

（2）「指導法講習における〔重点事項〕」

（3）木刀による剣道基本技稽古法の「指導上の留意事項」

＊　参考資料［剣道指導要領］

［剣道講習会資料］（平成29年4月1日発行）

(注)・参考資料は、全日本剣道連盟発行のもの、以下同じ。

出題は参考資料を基にし、回答は選択式、○×式などによる。

2　試合・審判

（1）「有効打突」「禁止行為」「審判」

（2）「審判法講習における〔重点事項〕」

（3）「審判員の心得」

＊　参考資料［剣道試合・審判規則、同細則］（平成24年4月1日施行）

［剣道試合・審判・運営要領の手引き］（平成19年3月14日発行）

［剣道講習会資料］（平成29年4月1日発行）

出題は参考資料を基にし、回答は選択式、○×式などによる。

【2時限目】　試験時間　14：30～15：20（５０分）

1　日本剣道形

（1）「日本剣道形講習における〔重点事項〕」、「日本剣道形の審査上の着眼点」

（2）「太刀の形四本目」および「小太刀の形三本目」

＊　参考資料［日本剣道形解説書］（昭和56年12月7日制定）

［剣道講習会資料］（平成29年4月1日発行）

出題は参考資料を基にし、回答は選択式、○×式などによる。

2　称号・段位

（1）「審査員の責務」

（2）「段位実技審査の着眼点」

＊ 参考資料［称号・段級位審査規則、同細則、称号・段位審査実施要領］

（平成28年4月1日施行）

出題は参考資料を基にし、回答は選択式、○×式などによる。

3　健康・安全　　下記の2問中1問を出題

（1）熱中症の種類、症状および予防対策

（2）剣道用具の安全管理

＊ 参考資料［剣道医学Q＆A(第3版)］（平成26年12月25日発行）

［剣道講習会資料］（平成29年4月1日発行）

［剣道社会体育教本「改訂版」］（平成21年4月1日発行）

回答は記述式による。

【3時限目】　試験時間　15：30～16：30（６０分）

小論文　　下記の2問中1問を出題（約700字程度）

（1）剣道における指導のねらい

（2）剣道指導者としてのあり方

＊　参考資料［剣道指導要領］

申請番号 [　　]

全剣連称号・段位様式第　5　号
平成　　年　　月　　日

＊都道府県剣道連盟で記入する。

＊申請番号は若年順に記入する。

1．剣　道
2．居合道
3．杖　道

＊該当するものに○印をする。

錬士 受審申請書（本人用）

（申請都道府県剣道連盟）東京都剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則[第11条第１項]に基づき、
道　錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

1	受審者氏名	フリガナ 印	（旧姓）フリガナ
2	生年月日	年　月　日生	年齢　満　歳
3	性別	男　・　女	
4	取得称号・段位	段位　段	
	取得年月	年　月	
	登録県名	登録県名	
5	全剣連番号		
6	住所	〒	
7	電話番号	携帯番号	
8	職業		
9	全剣連社会体育中級認定年月	平成　年　月　認定	

※認定者のみ記入。

申請番号 [　　]

＊都道府県剣道連盟で記入する。

＊申請番号は若年順に記入する。

全剣連称号・段位様式第 5 号

平成　　年　　月　　日

(1). 剣　道
2．居合道
3．杖　道

錬士　受審申請書（本人用）

＊該当するものに○印をする。

（申請都道府県剣道連盟）東 京 都 剣 道 連 盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則［第１１条第１項］に基づき、
道　錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

1 受審者氏名	フリガナ：トウキョウケンイチ 東京剣一 印	（旧姓）フリガナ	
2 生年月日	50年 3月24日 生	年齢 満 42 歳	
3 性別	(男)・女		
4 取得称号・段位	段位：6 段		
取得年月	27年 5月		
登録県名	登録県名：東 京		
5 全剣連番号	3587432		
6 住所	〒105－0004 港区新橋4－24－2		
7 電話番号	03－5405－2166	携帯電話	090－○○○○－○○○○
8 職業	自営業		
9 全剣連社会体育中級認定年月	平成27年8月　認定		

※認定者のみ記入

申請番号 [　　]

全剣連称号・段位様式第　4　号
平成　　年　　月　　日

＊都道府県剣道連盟で記入する。
＊申請番号は若年順に記入する。

教士 受審申請書（本人用）

1．剣　道
2．居合道
3．杖　道

＊該当するものに○印をする。

※　試験会場 [　　]

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

（申請都道府県剣道連盟）　東京都剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則[第11条第１項]に基づき、
道　教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

1	受審者氏名	フリガナ 印	フリガナ （旧姓）
2	生年月日	年　月　日生	年齢 満　歳
3	性別	男　・　女	
4	取得称号・段位 取得年月 登録県名	称号 錬士 / 段位 段 年　月 / 年　月 登録県名 / 登録県名	
5	全剣連番号		
6	住所	〒	
7	電話番号	携帯番号	
8	職業	現職 / 前職	
9	全剣連社会体育上級認定年月	平成　年　月　認定	※上級認定者のみ記入

顔写真を貼ってから提出してください
（３cm×４cm）

※出来るだけ具体的にお書きください。（無職の方は前職を記入）

[剣　歴]※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。

申請番号 [　　]

全剣連称号・段位様式第 4 号

平成　　年　　月　　日

＊都道府県剣道連盟で記入する。
＊申請番号は若年順に記入する。

教士　受審申請書（本人用）

(1) 剣　道
2．居合道
3．杖　道
＊該当するものに○印をする。

※　試験会場　[東　京]

※社会体育上級認定者（追認者除く）は
上記試験会場の記入は不要。

（申請都道府県剣道連盟）東 京 都 剣 道 連 盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則［第１１条第１項］に基づき、
道　教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

1 受審者氏名	フリガナ	トウキョウ ケンイチ		フリガナ	
		東　京　剣　一 印	(旧姓)		
2 生年月日	48年　3月24日　生		年齢　満　44　歳		
3 性別	(男)　・　女				
4 取得称号・段位	称　号	錬　士	段　位	7　段	
取得年月	20年　5月		25年　5月		
登録県名	登録県名	東　京	登録県名	東　京	
5 全剣連番号	3587432				
6 住所	〒105－0004 港区新橋4－24－2				
7 電話番号	03－5405－2166	携帯電話	090－○○○○－○○○○		
8 職業	現職	会社員	前職		

顔写真を貼ってから提出してください（3cm×4cm）

※出来るだけ具体的にお書き下さい。（無職の方は前職を記入）

9 全剣連社会体育上級認定年月　平成２７年１０月　認定　※上級認定者のみ記入

［剣　歴］※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。
○　東京都剣道大会２位
○　国民体育大会出場

全剣連称号・段位様式第　9　号
平成　　年　　月　　日

特例錬士

1．剣　道
2．居合道
3．杖　道
＊該当するものに○印をする。

錬士 受審申請書（本人用）

（申請都道府県剣道連盟）東京都剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段位審査規則[第11条第２項（五段受有者）]に基づき、　　道錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

1　受審者氏名	フリガナ 印	（旧姓）	フリガナ
2　生年月日	年　月　日生	年齢満　歳	
3　性別	男　・　女		
4　取得段位	段位　五段		
取得年月	年　月		
登録県名	登録県名		
5　全剣連番号			
6　住所	〒		
7　電話番号		携帯番号	
8　職業			
9　賞罰の有無			
10　全剣連社会体育中級認定年月 ※認定者のみ記入。	平成　年　月　認定		

全剣連称号・段位様式第　10　号
剣連　　第　　号
平成　　年　　月　　日

全日本剣道連盟
会長張　富士夫　殿

特例錬士

1．剣　道
2．居合道
3．杖　道
＊該当するものに○印をする。

東京都剣道連盟
会長千葉胤道　印

錬士候補者推薦書

今般、下記の者を全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第２項（五段受有者）]に基づき錬士候補者として特に推薦いたしますので、審査願います。

フリガナ 氏　名 生年月日	年　月　日満　歳		全剣連番号 性　別 男・女	
本　籍				[職業]
現住所	〒			[連盟役員]
五段取得 年月日	年　月　日	五段取得 剣道連盟		[最終学歴]
[職　歴]				
[剣　歴]				
[斯道への功績]				
[剣連認定講習会実績]				
[推薦の特別な理由]				

◎楷書・箇条書で正確にこの用紙内に記入してください。